

---

## 「アトピー性皮膚炎合併の水疱性類天疱瘡患者に対するデュピルマブ治療の臨床的検討」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。  
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。  
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2019年12月1日から2023年1月31日の期間に、埼玉医科大学総合医療センター皮膚科で、デュピルマブにより治療されたアトピー性皮膚炎合併の水疱性類天疱瘡の患者さんを対象としております。

#### 2. 研究の目的

水疱性類天疱瘡は高齢者に好発する自己免疫で生じる水疱症の一つですが、ステロイド治療でコントロールができない患者さんやステロイド減量中に再発を繰り返す患者さんもおります。また、高齢者では、免疫抑制剤の治療は使用し難く、副作用も問題となります。

2018年、ヒト型抗ヒトIL-4/13受容体モノクローナル抗体製剤であるデュピルマブがこれまでの治療で効果不十分のアトピー性皮膚炎に承認され、その有効性と安全性が示されています。その一方、アトピー性皮膚炎を合併した水疱性類天疱瘡患者さんは治療に難渋することがしばしばあります。今回、当科でデュピルマブにより治療したアトピー性皮膚炎を合併した水疱性類天疱瘡の患者さんにおける治療効果や安全性について検討します。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2025年1月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

2024年4月31日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

本研究は、新たに患者さんから検体を採取したり投薬をしたりすることはなく、これまでの外来診療でのカルテの記載を解析して行う研究です。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター皮膚科において、研究

実施者である高村 さおりが管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

## 2. 試料・情報の取得方法

アトピー性皮膚炎合併の水疱性類天疱瘡と診断された患者さんの診療記録等を用います。

## 2. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- 3. 埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 福田 知雄（研究責任者）
- 埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村 さおり（研究実施者）
- 埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 人見 勝博（研究実施者）
- 埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 中村 かおり（研究実施者）

## 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村 さおり、福田 知雄

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3637（土日祝日を除く 9時～17時）

○研究課題名：アトピー性皮膚炎合併の水疱性類天疱瘡患者に対するデュピルマブ治療の臨床的検討

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 福田 知雄